

## 令和5年度 第2回伊予市ブランド認定審査会 議事録

日 時	令和5年8月24日(木)午後2時00分～午後4時00分
場 所	伊予市市役所 3階 庁議室
出席者	会長・松本直樹、副会長・武内英治 委員・弘田智美、中村憲二、北岡正壽、友澤千代
事務局	【企画振興部/地域創生課】 企画振興部 部長 向井 功征 課長・松本 宏、課長補佐・関木浩司、係長・山内由佳 主査・福本辰巳、主任・三谷 真鈴
内 容	<p>&lt;次第&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 会長あいさつ</li> <li>2. 審議事項             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 新規申請品の審査</li> <li>(2) 更新申請品の審査</li> <li>(3) 審査結果を踏まえた協議</li> </ol> </li> <li>4. 今後のスケジュール</li> <li>5. その他</li> </ol>
<p>～開会・会長あいさつ～</p> <p>【事務局(課長)】</p> <p>定刻になりましたので、只今より「令和5年度 第2回 伊予市ブランド認定審査会」を開催致します。本日は、伊予市内の事業所において研修されております、経済産業省 商務・サービスグループ 生物化学産業化 係長 梅根 輝来人(うめねきらと) 様に、本市のブランド認定制度について認知していただくため、オブザーバーとして参加を いただいておりますので、ご理解を賜りますようお願い致します。</p> <p>それでは、開会にあたり松本会長よりご挨拶を頂きたいと存じます。松本会長、宜しくお願い致します。</p> <p>【会長】</p> <p>委員の皆さまにおかれましては、残暑の厳しい中、ご参集いただきありがとうございます。今回は、5月に開催した、第1回の審査会にて確認した、「審査基準」「認定までのスケジュール」に沿って、今回申請のあった3件について審議をしていただきます。また、この後、来月にはブランド認定証授与式、等々も予定されているということでございます。</p> <p>委員の皆さまにおかれましては、ぜひ闊達なご意見、有意義な意見交換になればと考えております。また、私自身も効率的な議事運営に努めさせていただきますのでよろしくお願い致します。簡単ではございますが、私からのあいさつとさせていただきます。</p>	

## 【事務局(課長)】

松本会長ありがとうございました。

今年度は、3事業所から、合計3品の新規申請がございました。大手削り節メーカーの大人気商品や、特産の中山栗を使用した加工品など、多様な商品が申請されておりますので、みなさまのご審議を、どうぞよろしくお願い致します。

ここで、資料の確認をさせていただきます。

事前に送付させていただいております、「令和5年度伊予市ブランド認定申請書【新規申請】」は、本日お持ちいただいておりますでしょうか。

お忘れの方は、こちらに予備を準備しておりますので、お声がけください。

それでは、本日の資料の確認をさせていただきます。6種類ございます。

- ① 次第
- ② 令和5年度 伊予市ブランド認定審査方法
- ③ 伊予市ブランド認定申請書【新規申請】
- ④ 伊予市ブランド認定申請書【更新申請】
- ⑤ 参考資料:更新申請品生産量推移(製造、販売実績一覧)・追記事項 等
- ⑥ 採点表(カラー用紙に印刷しています)

採点表は、事業者ごとに色分けしており、あらかじめ、右上に委員氏名を記載させておりますので、お間違いが無いことをご確認お願い致します。

それでは、議事に移りたいと思います。

実施要綱に基づき、松本会長を議長として議事進行をお願い致します。

～審議事項～

## 【会長】

それでは、次第に沿って議事を進めて参ります。はじめに、新規申請商品の審査です。事務局より、商品の説明をしたのち、申請品の試食等を行い、意見交換を行いたいと思います。

それでは、事務局に新規申請品の説明を求めます。

## 【事務局】

事務局の山内です。新規申請品についてご説明致します。

採点の際は、令和元年度から使用しております「伊予市ブランド認定審査方法」をご用意しておりますので、参考にいただければと思います。

次第を2ページめくってください。審査方法について簡単に説明をさせていただきます。委員の皆様には、「伊予市ブランド認定制度実施要綱」第4条に定める審査基準に沿い、「伊

予市らしさ」「独自性」「信頼性」「市場性」「将来性」の各項目について1～5点で採点して頂き、係数を乗じ、100点満点中 全員が70点以上をつけた製品について認定を致します。なお、1人でも70点未満をつけた製品については、改めて審議を行い、認定の可否を決定致しますので、よろしくお願いします。

それでは、資料「令和5年度伊予市ブランド認定申請書【新規申請】」をご覧ください。  
今回は、3事業者から3品の申請がございましたので、受付順にご説明をさせていただきます。

まず、ヤマキ株式会社 様の「割烹白だし 500ml」についてご説明致します。

採点いただく紙は、黄色です。

ヤマキ株式会社は、創業以来100年以上にわたり、「鰹節でだしをとる」という日本の伝統を守り、進化させながら「鰹節屋、だし屋」の道を一筋に歩み続けて来られました。

1994(平成6)年に、かつお一番だしを効かせ、薄口醤油などで調味した、薄めるだけの手軽さで、いつもの料理が割烹の味わいに仕上げる「割烹白だし」を新発売。九州や中京エリアで親しまれていた白だしを全国的に広めました。

鰹節屋の強みを生かし、良質なかつお節から抽出した「だし」を使用しているため、かつお節の香りが良く、だしが効いて、料理がきれいに仕上がります。薄めるだけで味が決まるため、味付けも簡単で、だし巻き卵や茶わん蒸し、スープなど様々な料理に使用できます。現在、白だしカテゴリーシェアNo.1を獲得し、多くの方に好評を得ている商品となります。

以上で「割烹白だし 500ml」の説明を終わります。

#### 【会長】

ありがとうございます。まず、1品目です。既に、机の上に試食品が準備されておりますので、試食に移りたいと思います。

この試食品は、商品を薄めているのでしょうか。

#### 【事務局】

基本的に、1:9で薄めて使用する商品ですので、お湯で薄めてご試食いただいております。

#### 【会長】

ありがとうございます。少しずつご意見が出ているようですが、特に、事務局側に尋ねたいことなどがございましたら、よろしくお願いします。武内さん、いかがでしょうか。

#### 【副会長】

美味しくて、メジャーな商品なのでいいと思います。

【会長】

委員さん、いかがでしょうか。

【委員】

これは、色々な料理に使える商品です。炊き込みご飯やだし巻き卵など、食生活改善グループの料理教室でも使用しますし、味も好評でした。

【会長】

ありがとうございました。その他の委員さんは、いかがでしょうか。

【委員】

この商品は、業界シェア NO.1 で、全国的にもメジャーな商品で、各家庭にも浸透していると思いますので、問題なく認定できるのではないのでしょうか。この商品を通して、より一層、伊予市を PR できたらいいと思います。

【会長】

ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。

【委員】

私は、料理をしないので、単純に美味しいという感想しか出ないのですが、伊予市のブランドの底上げができて、パフォーマンス的にもいい商品だと思います。

こちらの商品の原材料と伊予市との結びつきはどのようなのでしょうか。

【会長】

もともとは、九州や、中京エリアで親しまれた白だしということですから、ルーツ自体は違うのかなという印象ですが、「伊予市らしさ」でいうと地元の企業の商品という事ではあるし、ブランド力もある商品だとは思いますが。金額的にはどうでしょうか。

【委員】

そんなに高い商品ではありません。買い求めやすい金額だったと思います。伊予市には、ヤマキ・マルトモの大きな工場が建っていて、「花かつお通り」と名付けられた通りがあるなど、伊予市といったら、かつお節が出てくるし、その企業の人気商品ということで、認定品としては、ばっちりだと思います。

【委員】

原材料は伊予市でなくても、国内産となっており、安心して買い求めいただける商品です

し、かつお節イコール伊予市というイメージで、市を PR するにはもってこいの商品だと思います。

【会長】

その他ご意見はございますか。私からひとつ質問です。新発売の商品ではないのに、認定申請のタイミングがこの時期になったのには理由がありますか。

【事務局】

昨年度、伊予市で関東伊予市人会「ふるさと伊予市」を立上げ、伊予市にゆかりのある方々や、企業等と交流をする中で、伊予市を代表する企業である「ヤマキ株式会社」の商品を、ブランド認定することで、本市の魅力を全国に発信していきたいというお話がありまして、今回、ヤマキの一番人気の商品である「割烹白だし」を申請していただいたという経緯があります。

【会長】

ありがとうございます。比較的、好意的なご意見が多いように感じましたが、その他ご意見がないようでしたら、採点表への記入をお願いします。

～採点表記入～

【会長】

みなさん、採点表の記入はよろしいでしょうか。よろしければ、続きまして、2品目の説明を求めます。

【事務局】

続きまして、ウェルピア伊予 様の「なかやま栗すい一つ」の説明をさせていただきます。採点いただく紙は、ブルーです。

こちらの商品は、特産の中山栗の中でも、果重が20～25gと大きく甘みが強い、最高級の品種である「銀寄」を一瓶に約150g(6 個程度)を贅沢に使用しています。また、栄養価が高く濃厚な風味が特徴の八ヶ岳野辺山原ジャージー牛乳を使用することで、コクのある滑らかな味わいに仕上げました。

ウェルピア伊予では、伊予市の魅力を全国に発信することを第一に掲げており、平成29年に、伊予市の特産品である栗を使った商品を開発いたしました。

その後、味やパッケージ等を改良しながら、現在の「なかやま栗すい一つ」となりました。

こちらは、ウェルピア伊予での販売のみならず、東京丸の内の店舗でも取り扱っていただいた実績があります。

また、愛媛県や、伊予市の物産フェア等にも積極的に参加することで、年々認知度が向上しており、今後は愛媛県の観光窓口である「松山空港」でも商品を取り扱ってもらい、県内外へ「伊予市」をPRできるよう準備を進めているところでございます。

以上で「なかやま栗すい一つ」の説明を終わります。

【会長】

ありがとうございます。それでは、さっそく試食をしてみましょう。

【委員】

このまま食べるものではないのでしょうか？

【会長】

事務局にお伺いします。これは、どのような食べ方が標準的なのでしょうか。

【事務局】

サンプル品と一緒に、チラシを置いてありますが、ジャムのようにトーストに塗って食べたり、ホットミルクに溶かしても美味しくいただけるそうです。もちろん、そのまま食べていただいてもいいと思います。

【会長】

ありがとうございます。ピーナッツバター的な商品だと思いますが、甘さがきついような気がします。もう少し、大人の味でもいいように思いますが、みなさんいかがでしょうか。

【委員】

このままでは、甘すぎて、ちょっと食べられないですね。パン等につけると美味しいのかもしれませんが。

【委員】

名前だけみると「すい一つ」とありますので、ケーキ的ものを想像していましたが、実際に食べてみるとペーストのような、ジャムのような感じで、ちょっと以外でした。

【委員】

せっかくの栗の食感があまり感じられないのと、これを売っていても、一見、何の商品がよく分からず、実際、買うかどうか迷うと思います。

**【会長】**

その他の委員さんはいかがでしょう。

**【委員】**

説明書きがないと、用途的にどのようなものか分からないという点が気になります。

**【委員】**

チラシには、「トーストにたっぷり塗って」とか「ホットミルクに溶かして」「アイスの上にトッピング」などといろいろな食べ方が載っていますが、パンケーキだけみると、どのような商品か分からないので、そこを表現できたらいいのかなと感じました。また、価格が、はちみつとセットで2,000円ということですが、単品はいくらでしょう。

**【事務局】**

単品は、栗すい一つが1,200円、みかんはちみつが800円となっております。

**【委員】**

ありがとうございます。一瓶1,200円が高いのか安いのかも、評価のポイントになってくると思います。

**【会長】**

栗のジャムは、内子で見かけたことがあります。金額までは覚えていませんが、高級なのかもしれません。

**【委員】**

高級中山栗の銀寄が約6個使われているということで贅沢なジャムではあると思います。

**【会長】**

伊予市らしさの点では、「中山栗」を使用しているということで、十分満たしていると思いますが、6次化の商品としては、近隣に類似品があることは確かです。

**【委員】**

セットのはちみつも一緒に認定する予定なのでしょう。

**【事務局】**

今回は、「みかんはちみつ」は認定せず、「なかやま栗すい一つ」のみの認定となります。

**【委員】**

申請書についてですが、申請者が代表取締役の鈴木さんで、「申請者の概要」がウエルピア伊予の大野さん、製造者は、小池さんになっているため整合性がとれてないのではないのでしょうか。

**【会長】**

ご指摘ありがとうございます。確かに、ファンスペースとウエルピアの関係を知っている人は分かると思いますが、書類としては、誤解がないように整合性をとっておいたほうがいいと思います。

**【事務局】**

ありがとうございます。書類を再提出していただき、どちらかに統一していただくように致します。

**【委員】**

瓶の裏をみると「栗のジャム」と分かったのですが、表だけ見ると「すい一つ」という表現から、どうしてもデザートをイメージしてしまいます。ネーミングを工夫したり、パッケージをみて一発で分かるようにすれば、先ほど友澤委員さんが言われたように、買い求めやすくなるのかなと思いました。

**【会長】**

「すい一つ」という表現が誤解を招きがちであり、また、見た目もすっきりしないという問題点があるということですね。ジャムならジャムと書いた方が分かりやすいのでしょうか。それならありふたネーミングになってしまうし、難しいところですね。

それでは、意見が出尽くしたところで、採点表への記入をお願いできたらと思います。

～採点表記入～

**【会長】**

みなさん、採点表の記入はよろしいでしょうか。よろしければ、続きまして、3品目の説明を求めます。

**【事務局】**

続きまして、藤田養蜂場の「びわ蜜」について説明をさせていただきます。

採点いただく紙は、ピンクです。



こちらの商品は、唐川びわの産地である、伊予市稲荷のびわ畑から集密したはちみつです。びわの花の開花時期は、11月から2月頃までで、この寒い時期にはちみつを採ることは難しいとされております。ミツバチは寒さに弱く、気温の低いこの季節は、女王バチが卵を産まなくなり、働きバチも一日数時間、太陽の当たる短い時間で働きます。

藤田養蜂場では、長年の経験を生かし、秋までの大群の力のあるミツバチを冬まで維持することで、伊予市で、冬に咲く唯一の花畑へ巣箱を設置し、はちみつを採ることを可能にしました。びわの白い花は、はっきりとした強い香りがして、遠くまで香り立ちます。その花から採れたはちみつは、花そのものの芳醇(ほうじゅん)な香りが移り、深いコクと濃厚な甘さのはちみつとなっています。

2019年に第5回ハニーオブザイヤーで優秀賞に輝いたほか、月刊誌「モノクロ」の国産はちみつランキングにおいて2位を獲得するなど、人気の商品となっております。大量生産ができないため、はちみつ専門店や、百貨店、インターネット販売、ふるさと納税返礼品等での販売を充実させています。

以上で、「びわ蜜」の説明を終わります。

【会長】

それでは、試食に移りたいと思います。商品に対するご意見や試食されてのご感想をよろしくお願い致します。普通のはちみつとは少し違う風味ですがいかがでしょうか。

【委員】

琵琶の花の香でしょうか。独特の味がします。

【会長】

この独特の風味を、付加価値というか、差別化というか、どう評価するかがポイントだと思います。いかがでしょうか。

【委員】

ちなみに、お値段はいくらでしょうか。

【事務局】

通常は、300gで 3,000 円となっています。ただし、県内特別価格として、産直市等では、2,400 円で販売しているそうです。

【会長】

ありがとうございます。その他の委員さんいかがでしょうか。

【委員】

申請書にもありましたが、特徴のあるはちみつで、口に入れた時、杏仁のような風味が広がって、いい感じですよ。

【会長】

他と、差別化するにはいい商品かもしれません。その他、いかがでしょうか。

【委員】

とてもきれいな色のはちみつだなと思いました。ヨーグルトにかけたり、紅茶に入れたりしてもいいと思います。以前、道の駅でアルバイトをしていた時にたくさんの種類のはちみつを取扱っていましたが、はちみつマニアの方は、値段が高くてはこだわって買っていかれていました。また、毎晩スプーン1杯のはちみつを食べると、認知症になりにくいという話をお客様から聞いたこともあります。有名な唐川びわから採れる「希少で高級なはちみつ」として、マニアの方をターゲットにすると、少しお値段が高くては人気の商品になるのではないかと思います。

【会長】

おっしゃるとおり、これは安く売るものではないと思います。

【委員】

びわ蜜ってめずらしいですよ。そこで、伊予市らしさを出せばいいと思います。

【会長】

否定的なご意見は無いように感じますが、他にご意見はございませんか。

【委員】

300gで3,000円ということですが、販売されている商品の量は、300gのみでしょうか。

【事務局】

300gで3,000円の品と、180gで2,000円の品がございます。300gのほうが少しお得になっております。

【委員】

なかやま栗すい一つとセットで販売している「みかんはちみつ」も、藤田養蜂場さんのものではないでしょうか。

**【事務局】**

みかんはちみつも、藤田養蜂場さんの商品になります。こちらは、単品で800円です。

**【委員】**

「みかんはちみつ」が、90gで、800円、「びわ蜜」が 180gで 2,000 円と考えると、「びわ蜜」が特別高い訳でもないですね。

**【会長】**

添付資料(はちみつランキング)を見ますと、100gあたりの値段が、突出して高い訳ではなさそうです。

2019年ハニーオブザイヤーを受賞されたそうですが、それ以降の成績はどうでしょうか。

**【事務局】**

今年もエントリーされて、最終選考までは残ったそうですが、残念ながら入賞は逃しました。

**【会長】**

ちなみに、優秀賞の上には、最優秀賞があるのですか。優秀賞も複数ある感じでしょうか。

**【事務局】**

こちらが把握している限りは、優秀賞は2つ、その上に最優秀賞だと認識しております。

**【会長】**

ありがとうございました。それではみなさん、採点表への記入をお願いします。

～採点表記入～

**【会長】**

それでは、事務局は採点表の回収及び集計をお願い致します。集計の間に、審議事項(2)「更新申請品」の審議に移ります。更新申請について事務局からの説明を求めます。

**【事務局】**

今年度は、令和2年9月26日に更新認定をした3品と、新規認定をした2品、合計5品が、更新の時期を迎えました。

更新につきましては、これまでの審査会で、「更新の意思があれば自動更新で良い」との方針を決定しておりますが、申請内容をご確認いただき、適否に関する審議をお願いしたいと思います。

それでは、認定品ごとの説明を担当よりさせていただきます。

**【事務局】**

資料は、令和5年度伊予市ブランド認定申請書【更新申請】をご覧ください。

株式会社 オカベ 様の「ふんわりチーズの花ふぶきプレーン」、宮野そば製粉製麺所 様の「茶屋そば」、有限会社 篠崎ベーカリー 様の「はだか麦パンシリーズ」につきましては、平成29年に認定された商品であり、今回が2回目の更新となっております。それぞれ、ブランド認定品として、商品の品質管理やPR、販路拡大に努められており、今回更新を希望されております。

また、家具屋アカトシロ 様の「ゴイチ」、阿川食品株式会社 様の「瀬戸のいわし煮」につきましては、令和2年度に新規認定された商品で、更なる品質の向上や、新たな情報発信、展示販売会への出品、パッケージ改良等を視野に販路拡大を目指しており、今回、更新を希望されております。

以上で説明を終わります。

**【会長】**

ありがとうございます。今回の更新申請について、皆さまのご意見をお伺い致します。いかがでしょうか。

**【事務局】**

補足ですが、お手元にお配りしております、「更新申請品生産量推移(製造、販売実績一覧)」等も参考にいただき、更新の審議をしていただければと思います。

**【会長】**

ありがとうございます。「ゴイチ」は、ふるさと納税では、どのような感じでしょうか。

**【事務局】**

ふるさと納税返礼品でのゴイチは、一昨年に結構出たのですが、昨年と今年につきましては、少し減少しております。

また、本日申請いただいております、「割烹白だし 500ml」「なかやま栗すいーつ」「びわ蜜」につきましては、すでにふるさと納税返礼品として登録させていただいております。近年は、返礼品として日用品が人気の傾向で、ヤマキの「割烹白だし」や、武内さんの(山陽物産)ところのマスクなどが人気商品となっております。また、びわ蜜も人気で、コンスタントに出ている状況です。一昨年までは、ブランド認定品の3分の1程度しか、ふるさと納税返礼品に登録していませんでしたが、現在は、「されだにゆずこしょう」と共栄木材さんの「焼杉」以外

は、全て返礼品として登録されております。

また、ふるさと納税の額は昨年度8400万円と倍増しており、今年度4月から8月の対前年比も、6～7倍近くに伸びております。本課では、今年度1億5千万円を目標に、PR活動を行っており、その中でも、主力商品として、サイト内で認定マークを付けたブランド認定品をイチオン商品として紹介するなど、認知度向上に力を入れているところです。

#### 【会長】

ありがとうございました。前回の審査会の時に、確か納税額が8000万円、そのうちブランド認定品が約400万で、ざっと計算して全体の5%程度と、案外少ないなという印象でしたが、その状況は変わりそうでしょうか。

#### 【事務局】

はい、今後変えて行きたいとは思っています。納税額8000万のうち、8割が柑橘となっております。柑橘が主力であるという事は変わりませんが、ブランド認定品等をさらにPRすることで、その割合を少しでも変えて行けたらと考えているところでございます。

#### 【会長】

情報提供ありがとうございました。それでは、更新申請につきましては、全会一致で、認めるということで、よろしいでしょうか。よろしければ、拍手を持って承認いただきたいとおもいます。

それでは、新規申請の採点の集計結果を待ちますので、ここで、一旦休憩とさせていただきます。

～ 休憩<10分間> ～

#### 【会長】

それでは、集計結果が出来たようですので、会議を再開させていただきます。新規申請品について、事務局より採点結果の報告を求めます。

#### 【事務局】

お待たせしました。先ほどの審議の結果ができましたので、事務局より説明をさせていただきます。冒頭に申しましたとおり、審査基準につきましては、各委員の採点が100点満点となり、全員が70点以上を付けたものが認定となります。お一人でも70点未満をつけた申請品につきましては、審議をしたうえで認定の可否を決定します。

まず「割烹白だし 500ml」につきましては、平均で、伊予市らしさ「28.0点」、独自性「18.0点」、信頼性「20.0点」、市場性「19.3点」、将来性「9.0点」、合計が「94.3点」とな

っており、全員70点以上の結果となっております。

続きまして「なかやま栗すい一つ」につきましては、平均で、伊予市らしさ「25.0点」、独自性「14.7点」、信頼性「16.7点」、市場性「14.0点」、将来性「8.0点」、合計が「78.3点」となっており、全員70点以上でございます。「びわ蜜」につきましては、伊予市らしさ「29.0点」、独自性「17.3点」、信頼性「18.7点」、市場性「16.0点」、将来性「9.0点」、合計が「90.0点」で、こちらも全員が70点以上となっております。以上でご報告を終わります。

#### 【会長】

事務局からの報告に対して何かご質問はありませんか。幸いなことに全て70点以上をクリアしているということで基本的には認定としていいかと思えます。あえて言うなら、「なかやま栗すい一つ」が若干ボーダーギリギリをつけられた委員がおられますが、基準はクリアしているところがございます。特にご意見がないようでしたら全ての商品を「認定」とさせていただきます。よろしければ拍手をお願いします。全員が賛成ということで新規申請品全てを認定致します。

それでは、事務局から今後のスケジュールについて説明をお願い致します。

#### 【事務局】

今後のスケジュールについて説明致します。会次第についている資料の最後のページをご覧ください。今回の審査会の結果を市長に報告し、正式に認定となりましたら、新規認定品につきましては、9月30日(土)に認定証の交付式を実施致します。

「DCM株式会社」様と開催しております、「ますます、いよし。ふるさと特産品フェア」に合わせて、ブランド認定証の交付式を行うことで、メディアにも多数取り上げられ、毎年大きな反響をいただいております。今年度は、9月30日、10月1日の土日にDCM美沢店で、10月7日～9日の三連休にDCM重信店での開催を予定しております。

審査委員の皆様には、今回はじめて、ブランド認定証授与式及び、ふるさと特産品フェアへのご案内をさせていただきます。ご都合が宜しければ、ぜひご出席いただきますようお願い致します。

また、昨年度実施した「オンラインツアー」を今年度も実施する予定としております。「南海放送株式会社」に委託し、伊予地区、中山地区、双海地区をライブ中継で繋ぎ、五色姫海浜公園から生配信を行うことで、視聴者に商品の魅力を伝えるとともに、オンラインツアー中に商品の購入が可能な「ライブコマース」を導入し、ブランド認定品の消費拡大を図ります。

さらに、今回新規認定をした事業者には、「ブランド認定品支援事業補助金」についても、積極的に活用していただくよう周知するなど、ブランド認定を受けた事業者様にとっても、メリットを感じてもらえるよう今後とも努めてまいりたいと思います。

その他といたしまして、8月11日(金)から13日(日)の3日間、当市と東京都港区との連携事業の一環として、港区札ノ辻スクエア「港区と全国をつなぐコーナー」にて、ブランド認定品

を中心とした当市の特産品を PR する物産フェアを開催いたしました。

3日間の売上は、338,091 円で、はだか麦パンシリーズ、瀬戸のいわし煮、やわらか黒酢南蛮、ぶっかけおぼろ豆腐、JA えひめ中央の柑橘ゼリーなどが売れ筋の商品で、初日に完売した品も多くありました。商品購入に至らない場合でも、興味がある商品のショップカードや観光パンフレット等をお持ち帰りいただくお客様も多く、当市及び当市のブランド認定品の認知度向上に、一定の効果があつたと思われます。

さらに、商談会(商品 PR)の実施や、港区の公式 Twitter 等を見て、近隣の愛媛県出身者や、「ミカンまる」のファンが来場してくれるなど、「全国連携」の取組みを通して、関係人口、交流人口の創出に繋がりましたことをご報告致します。

本日の審議内容につきましては、議事録として整え、市の HP に掲載致します。今後、郵送またはメールにて議事録を送付致しますので、確認作業へのご協力をお願い致します。

また、審査会にご参加いただいた報酬は、後日口座にお振り込みをさせていただきますのでよろしくお願い致します。

以上で、事務局からの説明を終わります。

#### 【会長】

以上で、本日の審議は全て終了致しました。約2時間に渡り、適切なお審議を頂き、誠にありがとうございました。委員各位のご協力に感謝を申し上げ、議長の任を解かせて頂きます。ありがとうございました。

#### 【事務局】

松本会長、ありがとうございました。

以上をもちまして「令和5年度 第2回 伊予市ブランド認定審査会」を閉会させていただきます。

お手元の、「新規申請」及び「更新申請」の申請書類、「更新申請に係る生産量の推移」の資料については、机の上においたままご退室ください。

本日は、誠にありがとうございました、お気をつけてお帰りください。